

1. 本授業科目の基本情報			
講義名(コード)	TCR223A	TCR_Sustainable Tourism II_A	
科目名(コード)	TCR223	TCR_Sustainable Tourism II_A	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CH2	単位数	2単位30
授業担当者	長島洋介・榎本由衣	時間数	
成績評価教員	長島洋介	講義期間	秋期
実務者教員		履修区分	
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要	
到達目標・目的	基礎英語コミュニケーション力をケーススタディやディスカッションなどでビジネス戦略力を養う
全体の内容と概要	基礎的かつ必要不可欠な英文法のルールを理解し、それらを用いた英文を理解することができる、また、それら文法構造を用いて発話するスキルを身につける。
授業時間外の学修	偶数回の授業において、各UnitのReading Sectionの語彙と内容を予習の範囲として事前把握に努める。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識(期末試験点) 60%	自己管理能力(出席点) 30%	協調性・主体性・表現力(平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	前期の復習	前期の復習
2	Session 1: ケーススタディ研鑽①	日本の接客に関する改善点①
3	Session 2: ケーススタディ研鑽②	日本の接客に関する改善点②
4	Session 3: ケーススタディ研鑽③	海外の接客に関する改善点①
5	Session 4: ケーススタディ研鑽④	海外の接客に関する改善点②
6	Session 5: ケーススタディ研鑽⑤	海外の接客に関する改善点③
7	Session 6: ケーススタディ研鑽⑤	日本の過疎化と人材問題①
8	Session 7: ケーススタディ研鑽⑤	日本の過疎化と人材問題②
9	Session 8: ケーススタディ研鑽⑥	日本の社会問題と接客①
10	Session 8: ケーススタディ研鑽⑦	日本の社会問題と接客②
11	Session 8: ケーススタディ研鑽⑧	日本の国際化と接客①
12	Session 8: ケーススタディ研鑽⑨	日本の国際化と接客②
13	Session 8: ケーススタディ研鑽⑩	日本の国際化と接客③ 期末試験レビュー
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	※授業の進捗状況を鑑み、各回のトピックに合った記事等を追加資料として配布する可能性があります。